

研究課題：消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の全国疫学調査に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

1.研究の意義、目的：Peutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポーシス症候群の患者数、臨床症状、治療法とその効果、予後を調査し、本疾患の病態の解明、治療法の確立に役立てることを目的とした研究です。

対象となる方 2019年1月1日から2021年12月31日までにPeutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポーシス症候群について医療を受けられた方

2.研究実施期間： 研究機関の長による許可日～2024年3月1日

3.利用する診療記録：診断名、年齢、性別、検査結果、治療内容、合併症など
他機関への試料・情報の提供方法 郵送により提供します

4.研究方法： 全国の患者数と過去の診療記録より上記の内容を収集し、臨床症状、治療とその効果、予後との関係性について検討します

5.共同研究機関名：信州大学（責任者：中山佳子）、自治医科大学（責任者：中村 好一）、京都府立医科大学（責任者：石川 秀樹）、九州大学（責任者：梅野淳嗣）、順天堂大学（責任者：神保圭佑）、三重県立総合医療センター（責任者：内田恵一）、慶応義塾大学（責任者：武田祐子）、日本大学医学部（責任者：山本敏樹）、埼玉医科大学総合医療センター（責任者：石田秀行）

研究代表者：信州大学医学部 小児医学教室 中山 佳子

研究責任者：地方独立法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
消火器・肝臓科 科長 岩間 達

6.お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、共同研究機関に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉小児医療センター
消火器・肝臓科 科長 岩間 達
電話 048-601-2200